

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22019	事業名	道路新設改良事業(川合9号線)		評価分類	B1		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()							
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	04:道路の保全・整備				款	08:土木費	
		施策の方向	01:幹線道路の整備				項	02:道路橋梁費	
重点プロジェクト		-			目		03:道路新設改良費		
事業期間	R 5 年度 ~ R 9 年度		主な根拠法令等	道路法、道路構造令					

担当部署	
部	建設部
課	土木課 道路整備G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	国道306号と市道和田のぼの線を結ぶ幹線道路である市道川合9号線は、交通量が増加傾向である一方、道路幅員は狭小であり、生活の安全性と利便性の向上を図っていく必要がある。	市民及び来訪者	都市拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。	国道306号から市道和田のぼの線までの全線の道路拡幅を行う。(改良区間) ・幅員W=9.5m(2車線道路、片側歩道) ・延長L=1,020m

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○測量設計	○用地測量	○用地買収		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		測量業務は計画通りに実施できたが、設計業務については、公安協議に時間を要したこと、また、道路線形の決定により道路を横断する水路を拡幅する必要が生じ業務量が増加したため、やむを得ず翌年度に繰り越した。	昨年度に繰り越した設計業務については、順調に業務を完了することができ、用地測量も概ね進捗することができたが、国の交付金について当初予算時で要望額の満額が配分されず補正予算と合わせた配分となり、年度内の完了が見込めなくなったことから、残りの用地測量については、やむを得ず翌年度に繰り越した。			
計画額	事業費	国・県支出金	22,000千円	4,766千円	21,000千円	21,175千円	120,400千円
		地方債	11,000千円	2,383千円	10,500千円	10,793千円	59,000千円
		その他	9,900千円	2,100千円	9,400千円	9,600千円	53,100千円
		一般財源	1,100千円	283千円	1,100千円	782千円	8,300千円
		決算額	事業費		4,765千円	21,175千円	
決算額	国・県支出金	地方債		2,383千円	10,793千円		
		その他		2,100千円	9,600千円		
		一般財源		0千円	0千円		
				282千円	782千円		
		①期間内計画額(R4-7)	163,400千円	②期間外計画額(R8-)	286,600千円	①+②総計画額	450,000千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	7,040千円
当年度の最終予算額	22,135千円
次年度への繰越額	8,000千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	整備進捗率	実績×構成比率(%)		成果	%	計画値 実績値		5 1	10 6
					計画値 実績値				
					計画値 実績値				

⑤ 進捗 度合 (C)	判定	評価理由
	B	昨年度に繰越した設計業務については、順調に業務を完了することができ、用地測量も概ね進捗することができたが、国の交付金の配分状況により補正予算での対応となった残りの用地測量については、年度内完了が見込めなくなったことから、やむを得ず翌年度への繰越を行った。
		概ね計画どおり進んでいる

事業の対象	事業の目的
市民及び来訪者	都市拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の進捗度合を踏まえた課題事項
	地域からの早期完成の要望を踏まえ、用地買収を着実に進め事業進捗を図りたいが、国の交付金配分に応じた事業の進め方について検討が必要がある。

⑦ 事業 の展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの 用地測量が完了した土地から用地交渉を進め買収を実施する。	令和8年度以降で対応するもの 用地買収を進めると同時に工事進捗を図るため、現道利用に配慮し、国の交付金配分に合わせた事業の進め方について検討を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		B	B	
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	

【履歴】

1次評価者	建設部 土木課 道路整備GL 伊藤 貴広
最終評価者	建設部 土木課 課長 水越 洋光